

技術科 指導方法の課題分析と授業改善策

	ア 指導方法の課題分析	イ 具体的な授業改善策	ウ 補充的・発展的な学習指導計画
第一学年	<p>○授業の理解を深める副教材の必要性がある。</p> <p>○物作りの楽しさが伝わるよう、個性が生きる教材の工夫を目指す必要性がある。</p> <p>○単調になりがちな情報作品にも個性が発揮できるような教材の工夫を目指す必要性がある。</p>	<p>○ワークシートを1時間単位で作成し、授業の流れや重点を單元ごとに確認できるようにする。</p> <p>○ワークシートに授業の感想を書かせ、生徒の反応を確認する。</p>	<p>○長期休業中、放課後等に補習を行い、作業に遅れのある生徒の支援を行う。</p>
第二学年	<p>○授業の理解を深める副教材の必要性がある。</p> <p>○物作りの楽しさが伝わるよう、個性が生きる教材の工夫を目指す必要性がある。</p> <p>○単調になりがちな情報作品にも個性が発揮できるような教材の工夫を目指す必要性がある。</p>	<p>○ワークシートを1時間単位で作成し、授業の流れや重点を單元ごとに確認できるようにする。</p> <p>○ワークシートに授業の感想を書かせ、生徒の反応を確認する。</p> <p>○昨年度の作品を整理し、モデル作品として提示することで、生徒に質の高い作品を見る機会を増やす。</p>	<p>○放課後等に補習を行い、作業に遅れのある生徒の支援を行う。</p> <p>○ワークシート等にかかれた感想を編集し教科通信としてフィードバックし、生徒の意欲の向上を図る。</p>
第三学年	<p>○授業の理解を深める副教材の必要性がある。</p> <p>○物作りの楽しさが伝わるよう、個性が生きる教材の工夫を目指す必要性がある。</p> <p>○単調になりがちな情報作品にも個性が発揮できるような教材の工夫を目指す必要性がある。</p>	<p>○ワークシートを1時間単位で作成し、授業の流れや重点を單元ごとに確認できるようにする。</p> <p>○ワークシートに授業の感想を書かせ、生徒の反応を確認する。</p> <p>○昨年度の作品を整理し、モデル作品として提示することで、生徒に質の高い作品を見る機会を増やす。</p>	<p>○放課後等に補習を行い、作業に遅れのある生徒の支援を行う。</p> <p>○ワークシート等にかかれた感想を編集し教科通信としてフィードバックし、生徒の意欲の向上を図る。</p>